

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 29日

協議会名: 海南市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大十バス株式会社	扱沢線 海南医療センター～海南駅 ～扱沢	・市ホームページ上での情報提供 ・バス情報のオープンデータ公開と乗換案内サイト事業者等との連携 ・市内高校の入学説明会資料へのバス利用促進資料の配布 ・市内小学校(1校)においてモビリティマネジメントに係る出前授業及びバス乗車体験を実施 ・地区からの要望に伴うデマンドタクシー実証運行実施 ・地区からの要望に応じ、小野田グリーンランド乗り入れに係る亀川線、東畑線、東畑野上新線の経路変更を実施し新たに停留所を設置 ・乗込み調査における現金以外の運賃決済を求める意見への対応として回数券を導入	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 輸送人員:実績691人 目標値1,500人 (前年度827人)	・乗込調査や市民アンケートの結果に基づき、低利用の便の整理や発着時間の調整を実施し、コミュニティバスの効率的な運行を図る。 ・特に乗車人数の減少が著しい下津町地域において、買い物の利便性を高めるような改正を図っていくとともに、デマンドタクシー等を含めた路線再編を検討していく。
	東畑線 海南医療センター～海南駅 ～東畑			C 輸送人員:実績1,038人 目標値1,100人 (前年度1,016人)	
	東畑野上新線 海南医療センター～海南駅 ～野上新～東畑			A 輸送人員:実績354人 目標値300人 (前年度241人)	
	七山線 海南医療センター～海南駅 ～七山			C 輸送人員:実績3,123人 目標値3,500人 (前年度3,081人)	
	七山沖野々線 住民センター～北野上小学校 ～七山			C 輸送人員:実績1,512人 目標値2,100人 (前年度1,703人)	
	KIP線 海南駅～市役所			A 輸送人員:実績9,645人 目標値8,700人 (前年度8,996人)	
	亀川線 海南駅～海南医療センター～ (亀川地区)～市役所			A 輸送人員:実績2,138人 目標値2,000人 (前年度1,730人)	
	仁義線 加茂郷駅～仁義			C 輸送人員:実績965人 目標値1,800人 (前年度1,025人)	
	戸坂線 加茂郷駅～戸坂			C 輸送人員:実績1,429人 目標値1,500人 (前年度1,465人)	
	大崎線 海南サクアス～大崎			C 輸送人員:実績923人 目標値1,500人 (前年度888人)	
	鰐川線 海南医療センター～海南駅～ 加茂郷駅～鰐川			C 輸送人員:実績5,158人 目標値6,000人 (前年度4,786人)	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 7年 1月29日

協議会名：	海南市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	海南市は紀伊半島に位置し、中心市街地を取り囲むように山間部が広がる地形であるとともに、民間事業者による鉄道やバス路線が廃線となってきた経緯もあり、コミュニティバスは、市役所や海南駅等から放射状に広範囲かつ長距離となる複数の路線が必要とされる。 また、急速な高齢化の進展に運転免許証返納の推進が拍車をかけ、自力で長距離移動ができない市民が今後ますます増加する中、特に山間部を中心に市民の生活を支える移動手段の確保が課題となっている。 そこで、生活交通ネットワークを維持し、山間部などの自力で長距離移動ができない市民のニーズを的確に踏まえた交通手段の確保維持を図るため、地域公共交通確保維持改善事業に基づく支援を活用し、関係機関がともに考え行動することで、地域特性や地域の実情に合致した公共交通体系の構築を目指す「海南市地域内フィーダー系統確保維持計画」を策定し、海南市における交通政策を効果的かつ効率的に推進する。